

都市施設関連資料

令和4年12月19日

1. 吹抜きの有無について

2. 階段の位置について

都市施設の配置イメージ ※第10回委員会時点

▲ : 動線上、整備の必要性が高い出入口
▲ : 利便性を高めるために必要な出入口

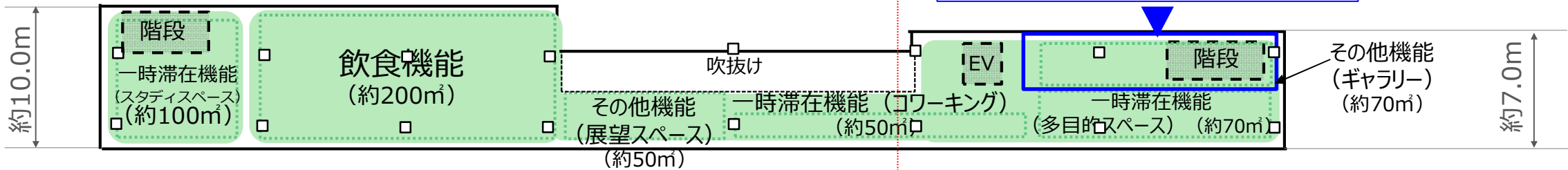
＜屋上＞ ※積雪期以外で利用することを想定

駅前通りの道路中心線



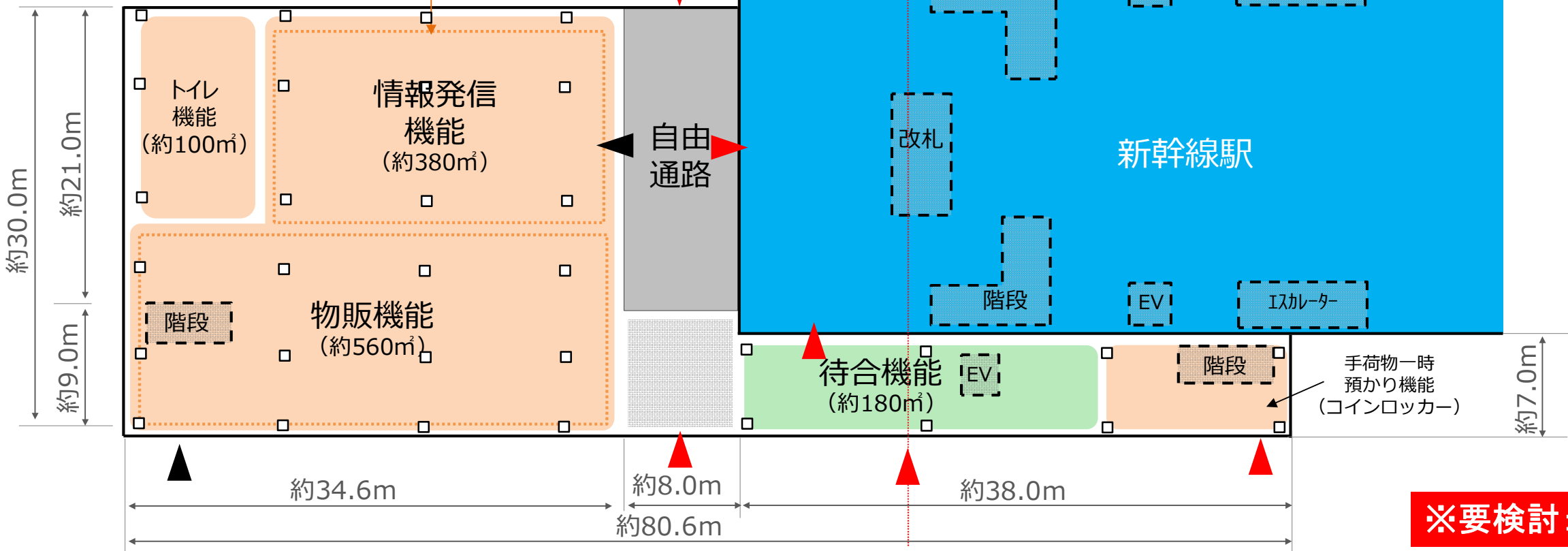
＜2 F＞ ※2 Fにもトイレ機能の配置を検討

鉄道施設のギャラリー展示



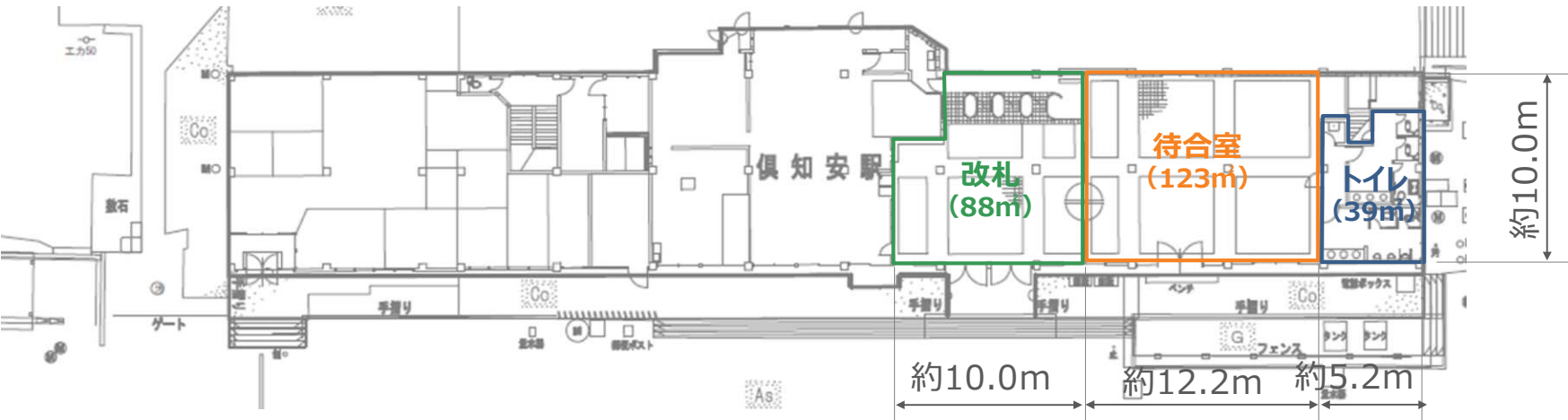
＜1 F＞

※手荷物一時預かり機能
(クローク) 含む



1 F : 高架下の総床面積
(642.6㎡)
1 F : 町整備の総床面積
(677.4㎡)

※要検討: 駐輪場の位置



※駅の内部レイアウトは概略検討状況であり、今後関係者と協議調整していく予定 (昇降設備と改札向き以外は、未確定)

1. 吹抜けの有無について

○第10回委員会での主な意見

- 吹抜けがあると、2階の空間を意識する。吹雪により駅舎で待機する時間が出てくることを思うと、空間が圧迫されるよりは、上が広いほうが良い。
- 吹抜けは暖房効率が悪い。
- 吹抜け部分を広げて、それほど収益に大きく影響はないのではないか。座っている人達が吹抜けから眺望できる方が、滞在する方にも余裕をもたらすと思う。
- 吹抜けが無くなると2階がどうなっているのかが見えない。

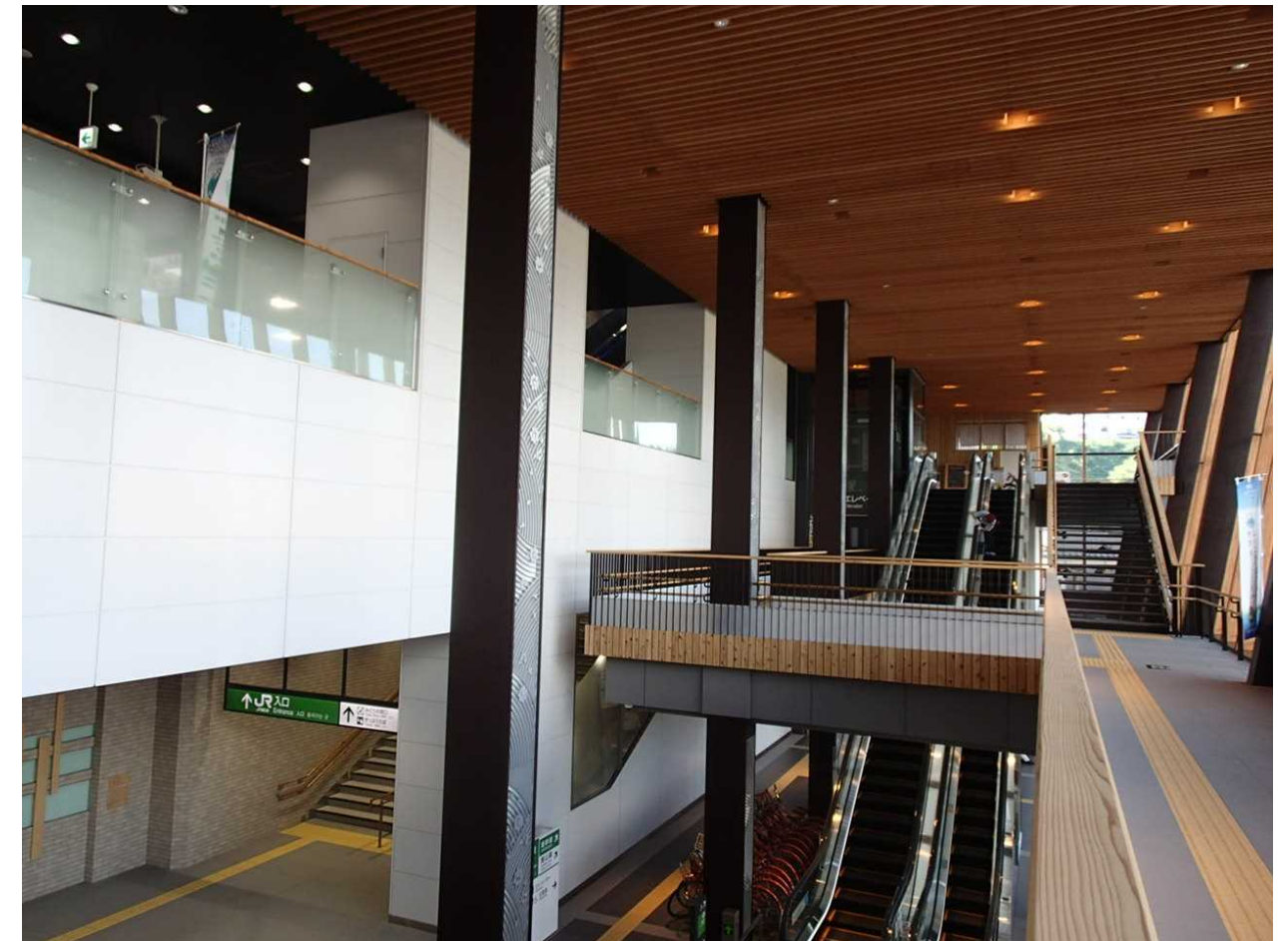
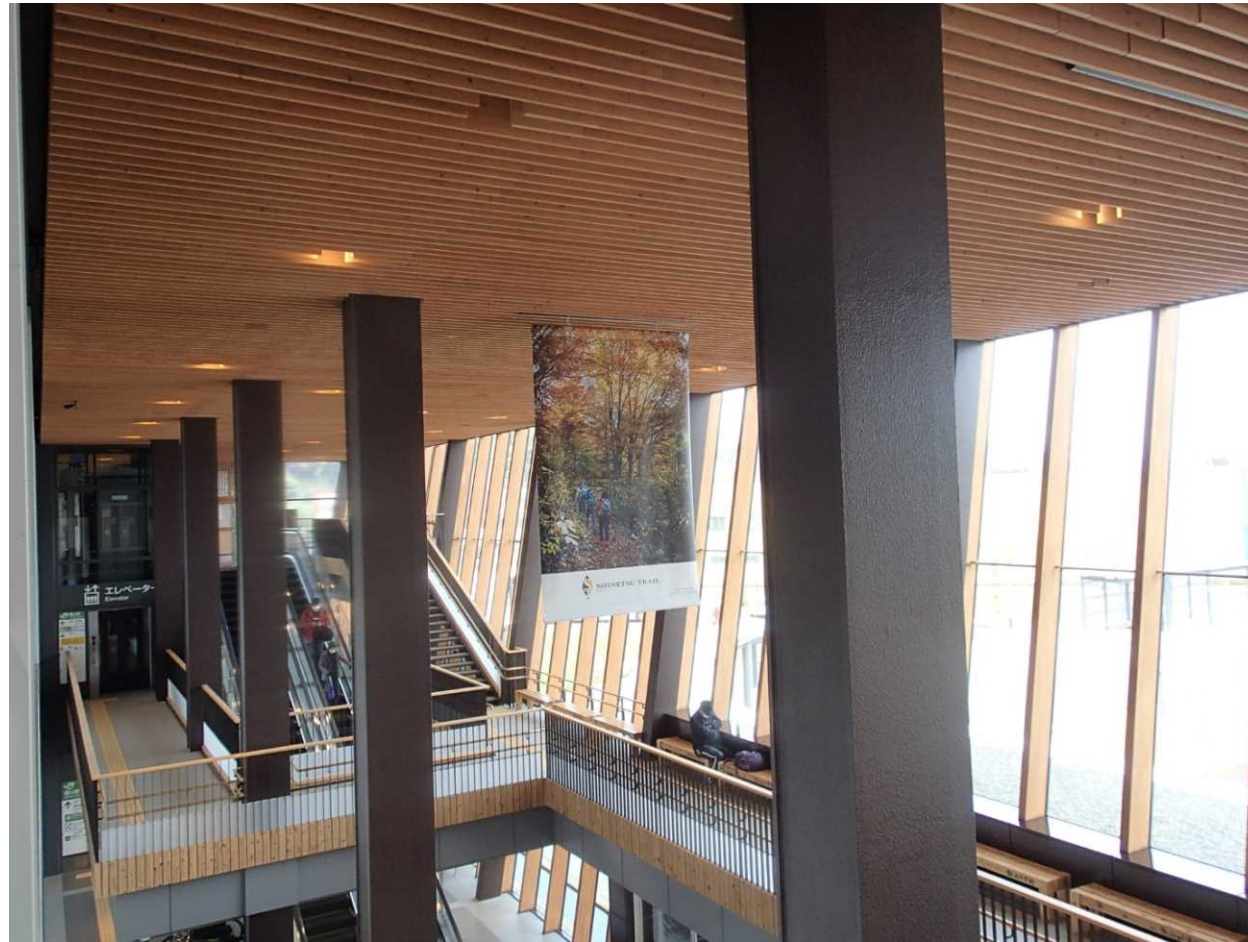
○メリット・デメリット

	メリット	デメリット
①吹抜けあり	• 2階を見通すことができる (改札を出た来訪客が2階の存在を認知しやすい) • 吹抜けから眺望できる • 広がりのある空間を演出できる	• 冷房・暖房効率を改善するためには技術を要する
②吹抜けなし	• 冷房・暖房効率が良い • 2階の空間を広く、かつ効率良く使うことができる	• 駅の利用者に2階部分の存在が認知されにくい

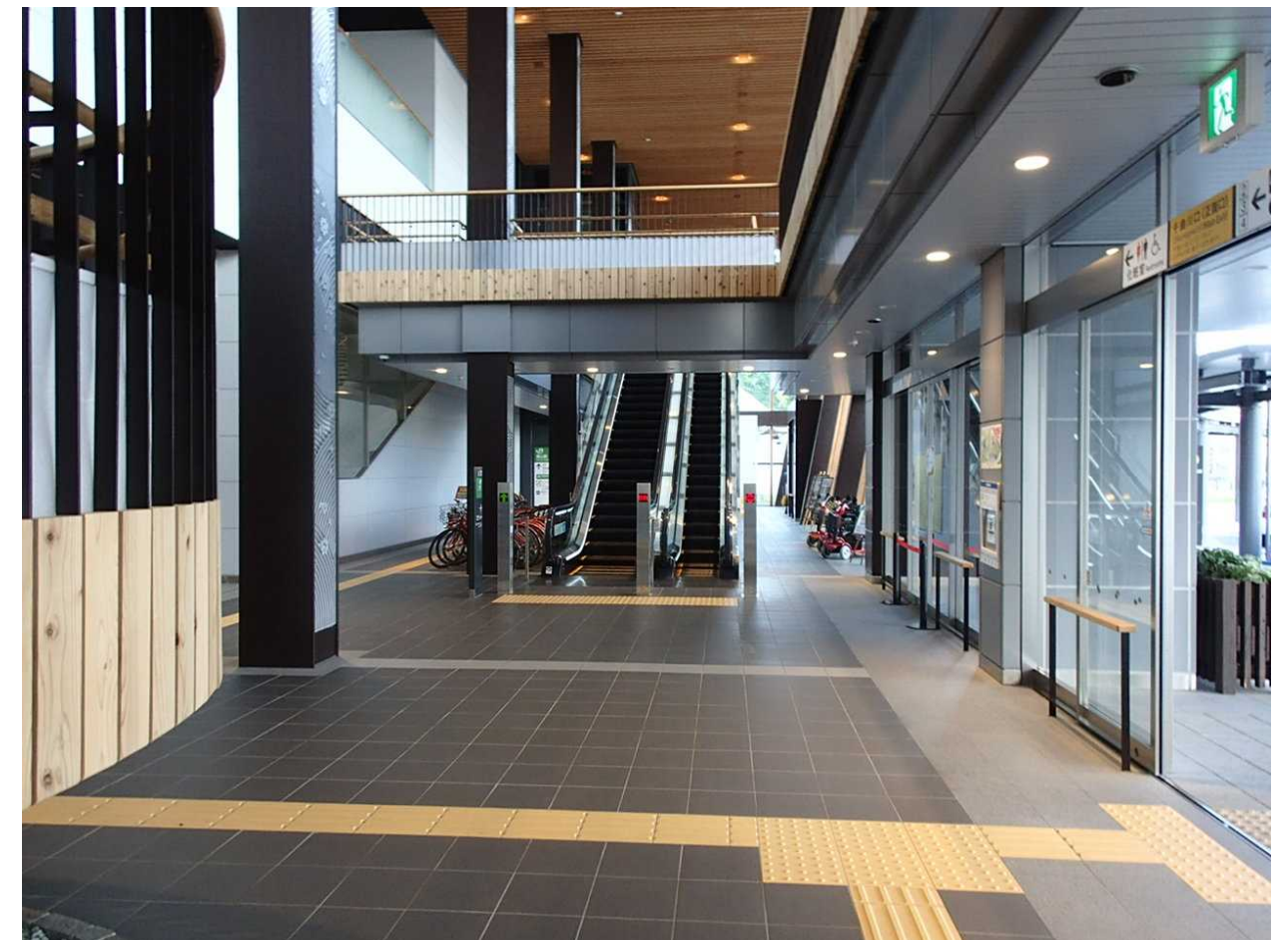
1. 吹抜けの有無について（吹抜けの整備イメージ）

○北陸新幹線飯山駅

中2階

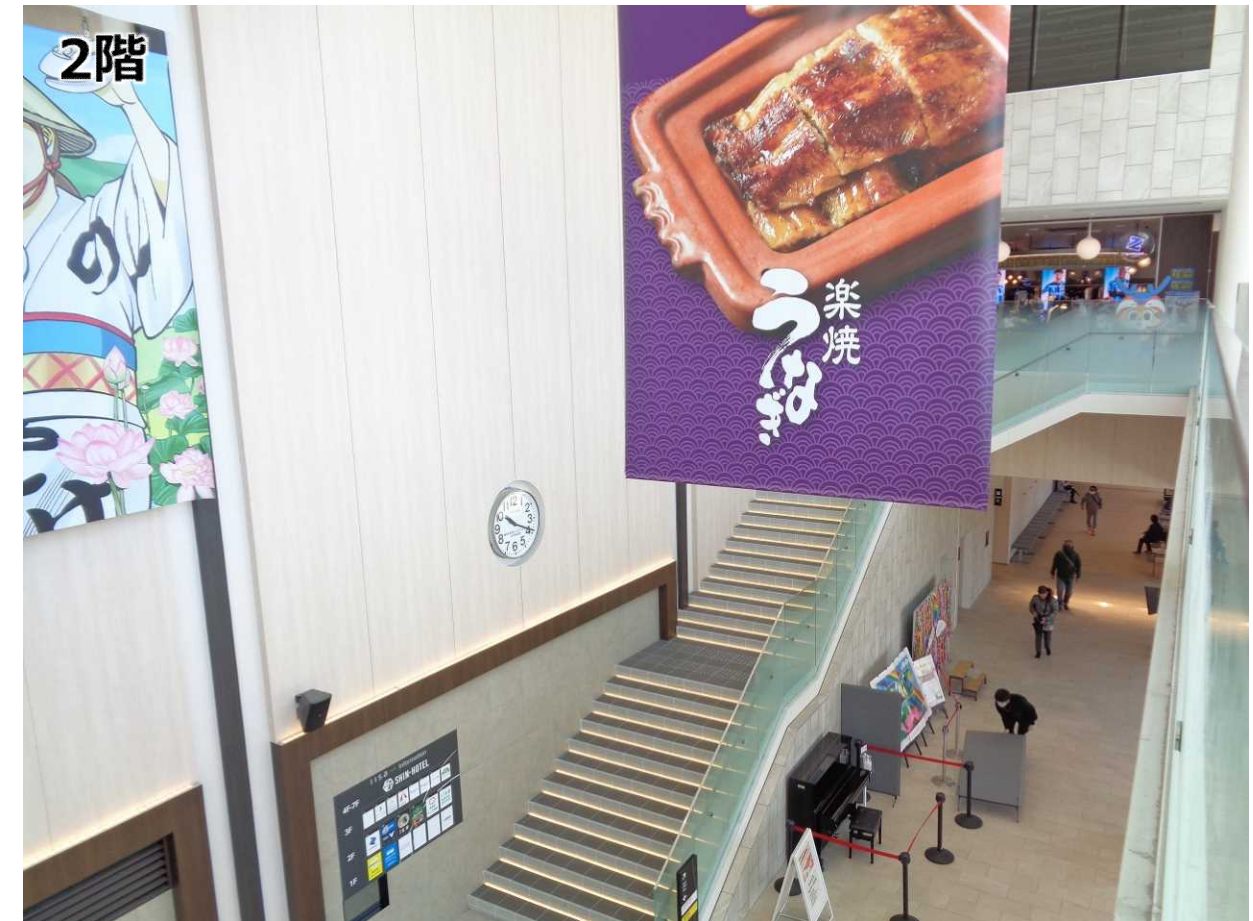


1階

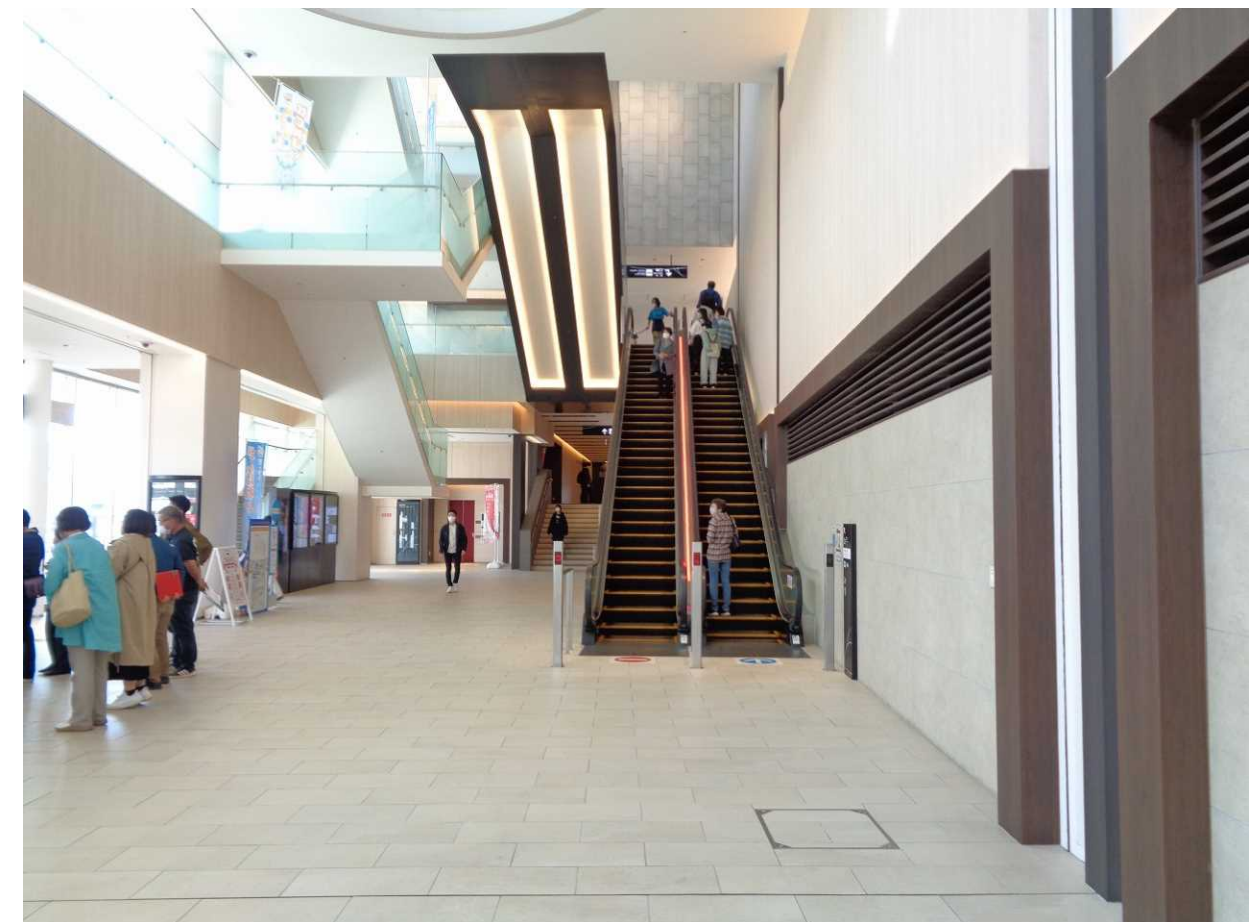


1. 吹抜けの有無について（吹抜けの整備イメージ）

○西九州新幹線諫早駅

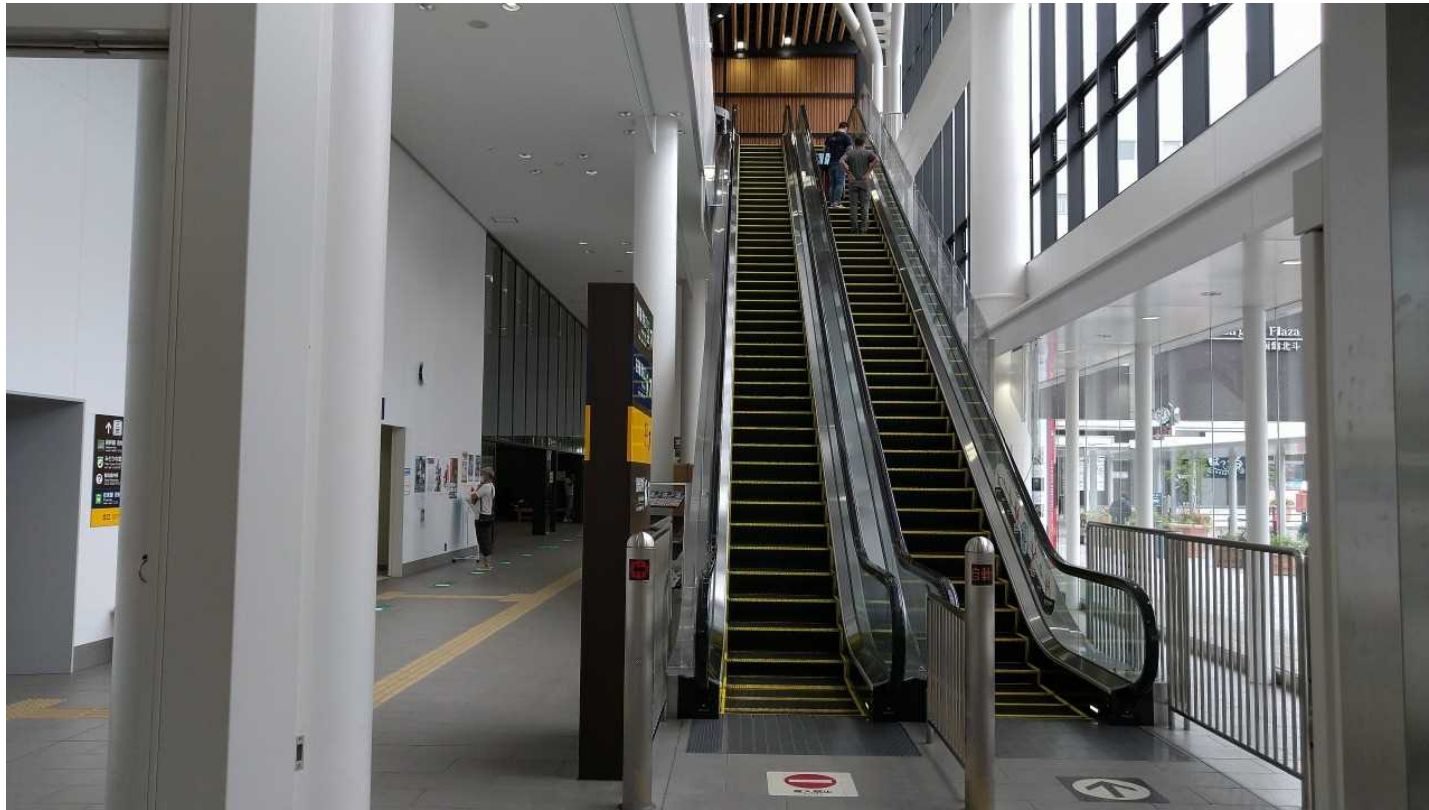


1階



1. 吹抜けの有無について（吹抜けの整備イメージ）

○北海道新幹線新函館北斗駅



○東北新幹線七戸十和田駅



○JR苗穂駅自由通路



（出典：STAGEAと走れ！HP）

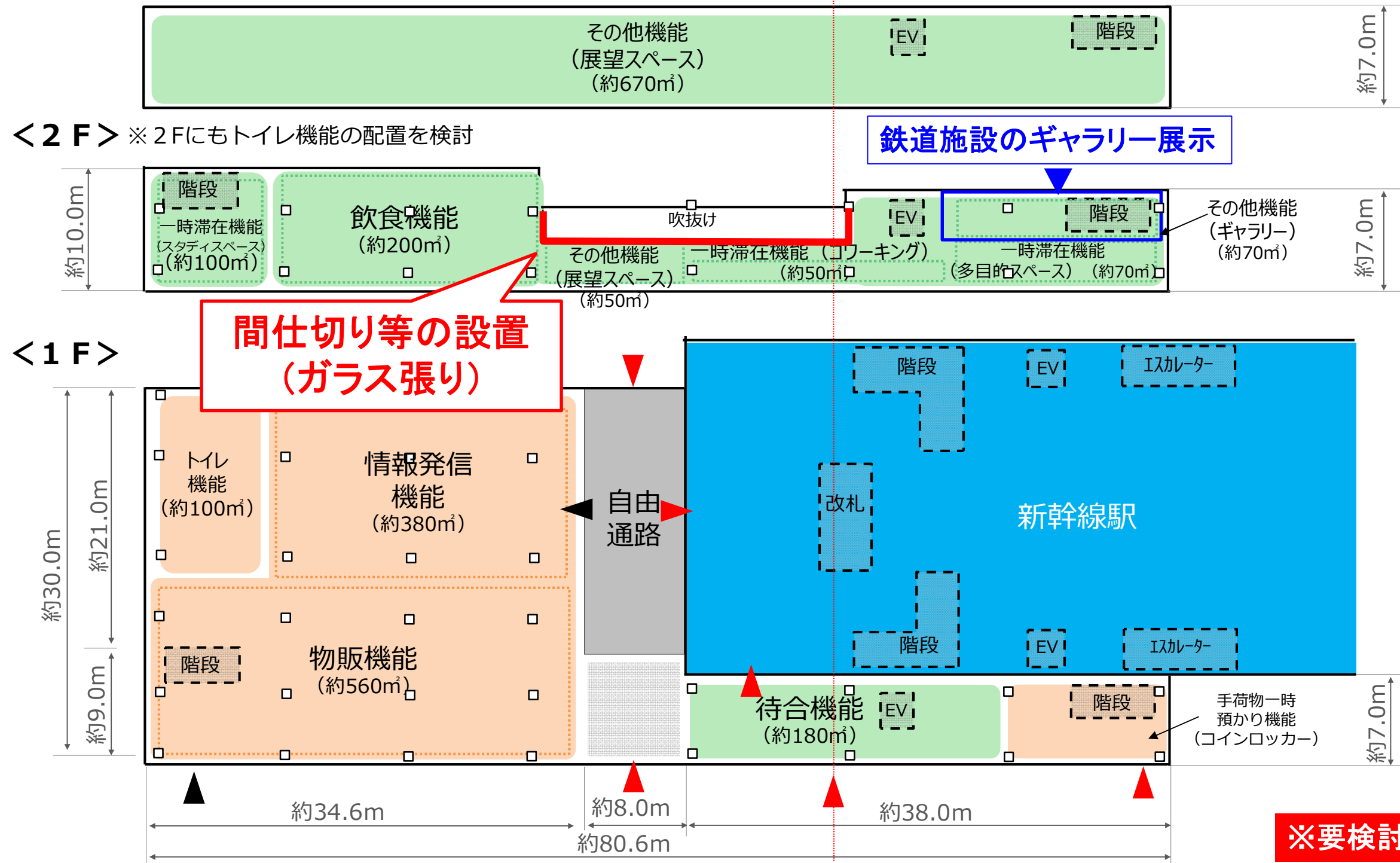
1. 吹抜きの有無について（防寒対策のイメージ）

▲：動線上、整備の必要性が高い出入口
▲：利便性を高めるために必要な出入口

<屋上> ※積雪期以外で利用することを想定

駅前通りの道路中心線

<2F> ※2Fにもトイレ機能の配置を検討



1F：高架下の総床面積 (642.6㎡)
1F：町整備の総床面積 (677.4㎡)

※要検討：駐輪場の位置



※駅の内部レイアウトは概略検討状況であり、今後関係者と協議調整していく予定（昇降設備と改札向き以外は、未確定）

2. 階段の位置について

○第10回委員会での主な意見

- 2階への行きやすさを考慮する必要がある
- 北側の階段をエレベーターと近接させる（コインロッカーの使い勝手、2階への行きやすさ向上）
- 階段を配置しても「待合機能」は独立させる（それぞれ客層が異なるため、情報発信機能とは統合しない）
- エスカレーターが無いため、大荷物を持った人の移動が大変
- 1階に手荷物一時預かり機能があるため、大荷物を持って移動することは考えにくい

○メリット・デメリット

	メリット	デメリット
①現在案	• 物販機能を広くとることができる	• 改札からの見通しが悪く、誘導し難い
②南側の階段を中央寄りに配置する案	• 改札からの見通しが良く、誘導しやすい	• ①案と比較して物販機能の使い勝手が悪い

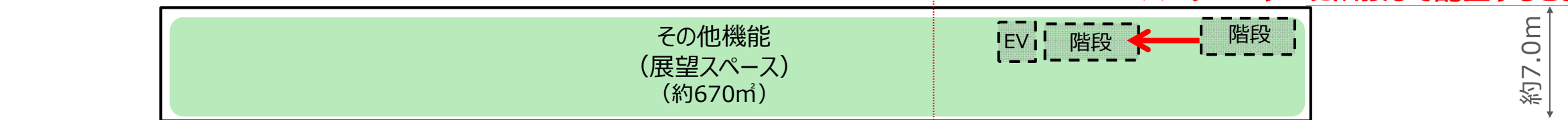
2. 階段の位置について

▲:利便性を高めるために必要な出入口

＜屋上＞ ※積雪期以外で利用することを想定

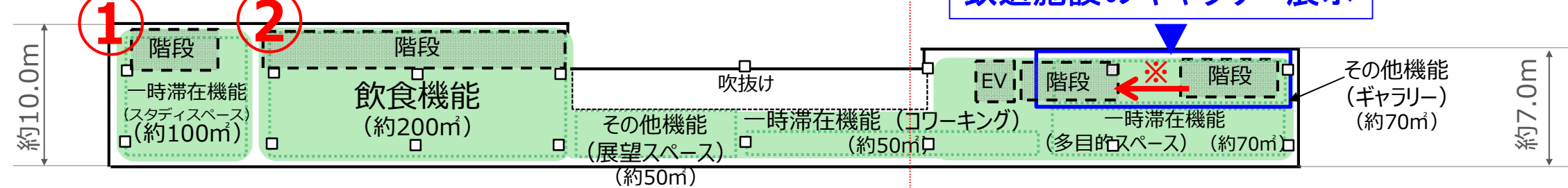
駅前通りの道路中心線

※エレベーターに隣接して配置することも検討



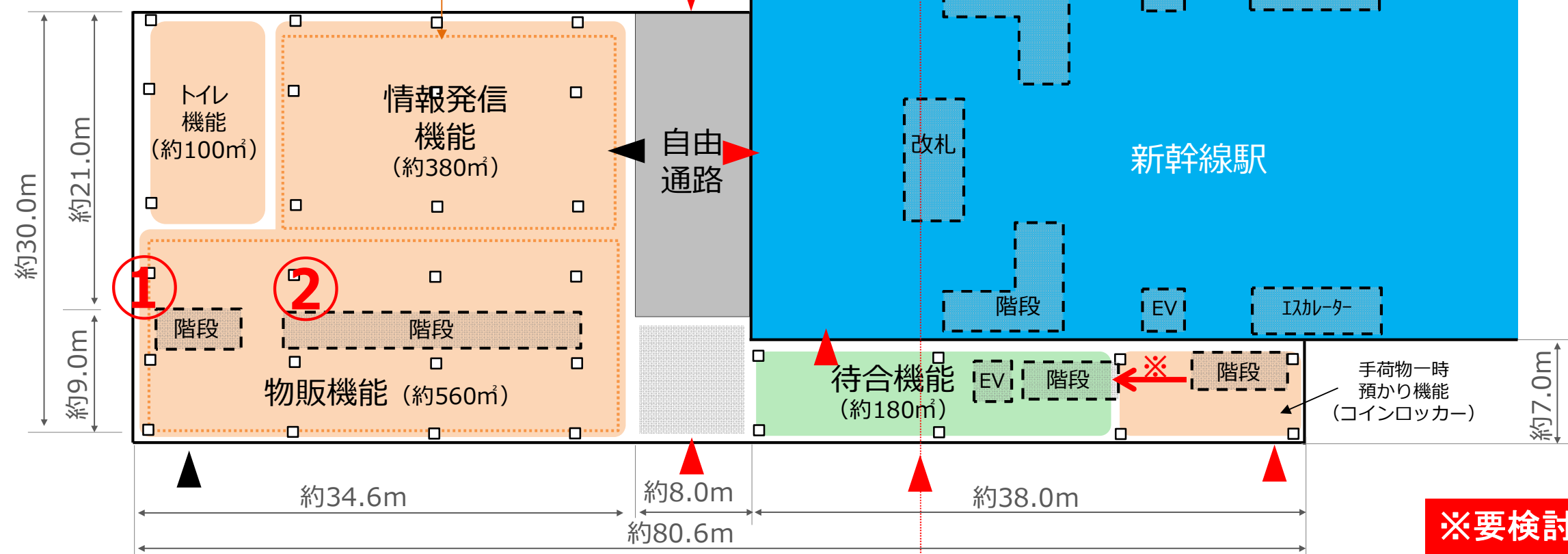
<2 F> ※2 Fにもトイレ機能の配置を検討

鉄道施設のギャラリー展示



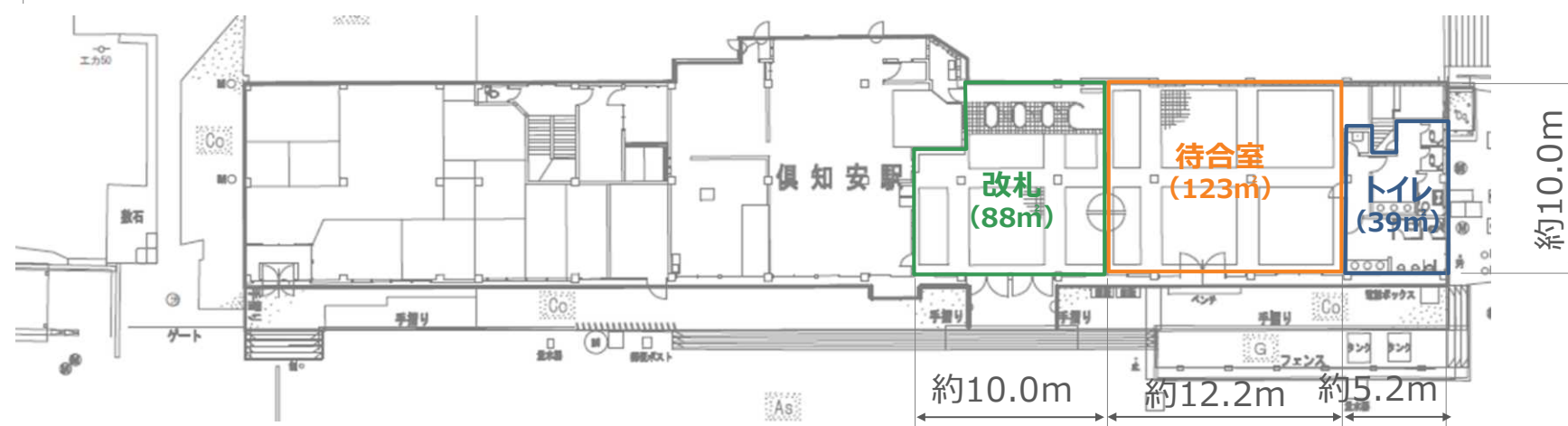
< 1 F >

※手荷物一時預かり機能
(クローク) 含む



1 F : 高架下の総床面積
(642.6m²)
1 F : 町整備の総床面積
(677.4m²)

※要検討：駐輪場の位置



※駅の内部レイアウトは概略検討状況であり、今後関係者と協議調整していく予定（昇降設備と改札向き以外は、未確定）

2. 階段の位置について（②案の整備イメージ）

○sitatte sapporo



○北陸新幹線福井駅（2024年開業予定）



2. 階段の位置について（②案の整備イメージ）

○北陸新幹線飯山駅

